

# はじめましょう！ 経理業務のデジタル化

～正確性向上・業務の効率化へ～



## 日常業務をデジタル化

クラウド会計ソフトやAI-OCR、電子帳簿の導入のほか、振込・入金等に係る事務をデジタル化

### 多種多様な書類



OCR 読み取り  
(AI-OCR)

スキャン  
(スマホ・スキャナ)

インターネット  
バンキング



自動的に  
分類・仕訳



取扱い  
・タ  
仕訳自  
動で

手間が省けて  
助かる～



クラウド会計ソフト等



はじめましょう！

経理業務のデジタル化

～正確性向上・業務の効率化へ～

## 現状



手入力・確認

支払や記帳

各種書類の分類

書面で保存



## 生産性の向上

- ① データの入力から確認までの事務量・負担が軽減
- ② リアルタイム（リモート）で経営状態が確認可能
- ③ 書面での保存が不要、保存コストの削減

## 経営分析

リアルタイムで経営状況を把握



## データ保存

自動で保存  
(電子帳簿保存法対応)

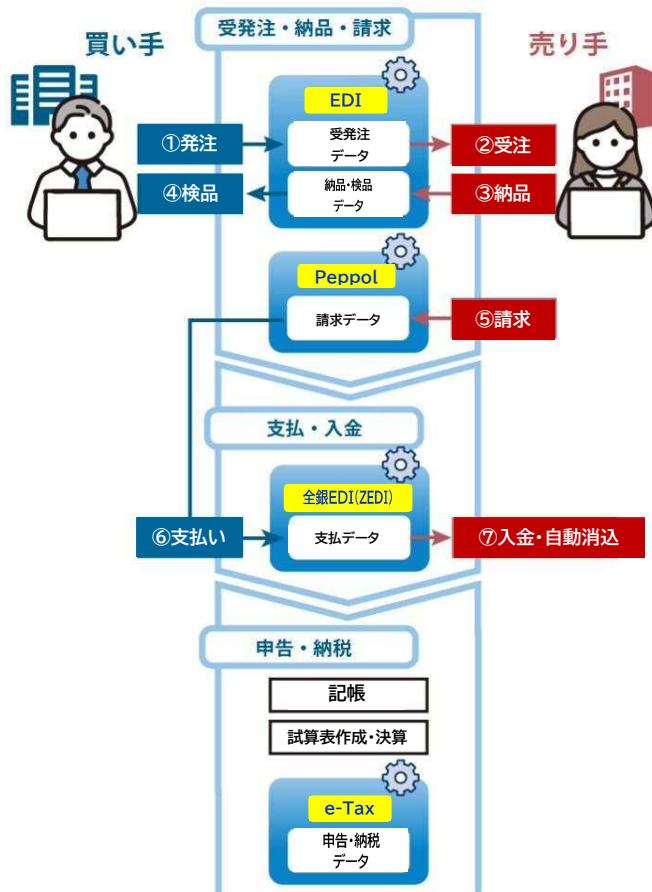


ペーパーレス



名古屋国税局・税務署（令和6年9月）

## デジタル化による一貫した処理イメージ



税務手続のデジタル化と併せて、経済取引や業務もデジタル化することにより、事業者の方が日頃行う事務処理の一貫したデジタル処理が可能となります。

全銀EDI<sup>(注1)</sup>やPeppol<sup>(注2)</sup>などを活用して一貫したデジタル処理が実現することで、事業者の方の生産性の向上に加え、経営の高度化が期待されます。

詳しくは以下のQRコードをご覧ください。

全銀EDI  
(一社)全国銀行協会



Peppol (ペポル)  
EIPA デジタルインボイス推進協議会



(注1) EDIとは、「Electronic Data Interchange (電子データ交換)」の略称で、企業などがコンピューターをネットワークで繋ぎ、企業間で伝票や請求書などを電子データで自動的に交換することです。

(注2) Peppol (ペポル)は、電子化した請求書などの電子文書をネットワーク上でやり取りするための「文書の仕様」、「運用ルール」、「ネットワーク」に関する世界標準規格です。

## 税に関するデジタル関係施策のご紹介

国税庁では、税務行政のDX(デジタル・トランスフォーメーション)を進めることで、納税者の皆様の利便性向上を目指しています。詳しくは以下のQRコードからデジタル関係施策の紹介ページをご覧ください。



スマホ申告

マイナンバーカードの普及・利用促進

マイナポータル連携

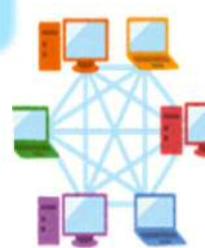


チャットボット

電子納税証明書

e-Tax

キャッシュレス納付



年末調整の電子化

納税情報の添付自動化

大企業の方は  
こちら



中小企業の方は  
こちら



個人事業主の方は  
こちら

